



1. 12月4日(木)～10日(水)は人権週間です。

枚方市では、差別せず、一人ひとりを大切にしたい、共に生きる社会の実現をめざし、人権についてさまざまな角度から考える機会として、関係団体と協力したイベントが実施されます。その一つとして、令和7年(2025年)12月4日(木)午後2時から、枚方市総合文化芸術センター 関西医大 小ホールにて、玉城ちはるさんによる多文化共生講演会『命の参観日』～ありがとう・ごめんなさい・大好き～が行われます。

シンガーソングライターで、安田女子大学非常勤講師の玉城ちはるさんが、ご自身の偶然の出会いから行うことになったホストマザーのことや、実感・経験したことなどを、「多文化共生」「異文化コミュニケーション」の観点からお話しされます。また合わせて、たくさんの楽曲にご自身の思いがいっぱい詰まった歌詞をのせて聞かせていただけます。お互いを理解し合い、認め合って、共に生きていくことの大切さを歌とお話で表現してくださいます。

2. 2学期が今月で終了します。

実りの多かった2学期が今月で終了します。4月に入学した1年生もすっかり中学校生活に慣れ、学校全体で取り組む学校行事での上級生の姿を見ながら、中学生が行動すべき姿を学んでくれたと思います。

また、2学期は、生徒会活動、部活動など学校生活で中心となって活動してきた3年生から1、2年生へ、その役割が引き継がれていく時でもありました。3年生は下級生にこれまでのより良い学校を築こうとしてきた活動を引き継いでいく時であり、2年生は、自分たちがこれまで3年生の姿から学んできたことを受け止め、これから自分たちが引き継ぐ決意を表明する時でもありました。

そして、3年生は、中学校を卒業後に進む自分の進路の希望先を決め、自分の力を発揮するために全力で学習に励んでいます。これまで以上に一人ひとりが自分と向き合っていくことになります。その時、周りには、家族、仲間、先生がいることを支えに、自分の力を最大限発揮して欲しいと思います。

3. 「多様な学びフォーラム2025」に参加しました。

10月31日(金)、時事通信ホールで開催された「多様な学びフォーラム2025」に参加しました。学びの多様な学校は不登校児童生徒に対する多様な学びの場を確保するため、令和7年4月までに、全国に58校設置されており、各校がそれぞれの地域において、誰一人取り残されない学びの保障に向けた取組に専心しています。学びの多様な学校は、国の「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」においても掲げられている、不登校児童生徒の多様な学びの一つです。どの学校にもいる、既存の学校教育になじめない児童生徒について、学校としてどのように受け入れていくかを検討し教育活動の実践につなげているところです。そういった各校における教育の質をさらに向上させていくため、「学びの多様な学校全国協議会」が設立され連携・協力していくことが確認されました。

本校においても、子どもの個々のニーズに応じた多様な学び場をどのように創るかを日々検討し、実践に結びつけているところです。例えば、スールカウンセラーの助言のもと、校内教育支援ルーム(STEP)内の机や椅子等を配置し、子どもたちが個別に学習したり、授業や学校行事等を、タブレットを通じて見られるように工夫しています。また、空き教室を活用した「スタディの場所(スタバ)」に、子どもたちが安心して集えるよう、ウレタンマット敷いたり、観葉植物を置いたりするなどしています。これからも他校の実践を参考にしながら、学校が多様な子どもたちにとって安心して学べる場所となるよう工夫してまいります。